



PATEK PHILIPPE
GENEVE

《報道資料》 ページ 1

パテック フィリップ ジュネーブ
Watches & Wonders Geneva 2025
2025年4月1日

5308G-001 モデル **愛好家のための新しいカドラブル・コンプリケーション**

2023年、ウォッチアート・グランド・エキシビション（東京2023）においてプラチナ仕様リミテッド・エディション（5308P-010）が世界初公開された5308モデルが今年、パテック フィリップ 現行コレクションに登場する。小型化とエネルギー効率における真の技術的壮挙であるこの自動巻カドラブル・コンプリケーションはミニット・リピーター、2つの新しい特許機構を備えたスプリット秒針クロノグラフ、瞬時日送り式窓表示永久カレンダーを統合している。最適化されたパフォーマンスを誇る新しいキャリバー R CHR 27 PS QI を収めたエレガントなホワイトゴールドのケースはオープンワークを施したラグを備え、アイスブルー・ソレイユの文字盤を配している。

2008年、パテック フィリップは、現行コレクションとして5207モデルを発表し、グランド・コンプリケーションにおける卓越した自社技術を今一度立証した。これはミニット・リピーター、トゥールビヨン、および2件の技術特許（キャリバー R TO 27 PS QI）で保護された瞬時日送り式窓表示永久カレンダーを組み合わせた革新的なタイムピースである。モダンなデザインにスポーティーなタッチを加えたこの腕時計は、毎日着用できるレギュラー生産の新しいタイプのグランド・コンプリケーションとしての最初のモデルであった。

2011年、マニュファクチュール パテック フィリップは、ミニット・リピーター、シングルプッシュボタン・クロノグラフ、および瞬時日送り式窓表示永久カレンダーを組み合わせた自動巻時計5208モデルを発表することにより、これら並外れたタイムピースの武勇伝を継続した。パテック フィリップのトリプル・コンプリケーションとして初めてクロノグラフを搭載した5208モデルは、自動巻機構を備えた希少な超複雑タイムピースのひとつとしての地位も確立している。キャリバー R CH 27 PS QI がすべての機能を正確、確実、完璧に実行するために、マニュファクチュール技術陣は、とりわけミニット・リピーターを搭載した基本キャリバーと永久カレンダー・モジュールの間にクロノグラフ機構を配置するという技術革新を行う必要があったが、これはきわめて複雑な課題であることが明らかとなった。2017年、このトリプル・コンプリケーションのチタン仕様によるユニークピース・バージョン（5208T-010）はチャリティーオークション・オンリーウォッチに出品され、620万スイスフランで落札された。

トリプルからカドラブル・コンプリケーションへ

パテック フィリップは、このグランド・コンプリケーションに新しい追加機能を統合することにより、偉大な時計製作技術の限界をさらに押し広げることにした。その追加機能とは、ミニット・リピーター、トゥールビヨンと並んで最も製作が困難なコンプリケーションのトリオに数えられる他に類を見ない機構、スプリット秒針クロノグラフである。第2のセンター・クロノグラフ秒針を制御するには、きわめて洗練されたシステムが必要である。この第2のクロノグラフ秒針は、中間タイムを測定する（または参照タイムを保持する）ために停止さ



《報道資料》 ページ 2

せることができ、次に一瞬で第1の秒針に《追いつかせる》ことができる。その後重なった2つの秒針は同一速度で回転し続ける。こうして高級時計製作の愛好家のための新しい自動巻5308モデルには、それぞれが卓越したグランド・コンプリケーションと見なされているミニット・リピーター、瞬時日送り式永久カレンダー、スプリット秒針クロノグラフの3つの機能を含む4つの機能が統合されているのである。小型化と微細な構成部品が受ける力の制御という真の技術的壮举の成果であるこのモデルは、2024年に強化された計時精度（日差-1～+2秒）を含むパテック フィリップ・シールすべての認定規準に準拠し、とりわけ長い軸で保持された4本の同軸のセンター指針など、きわめて複雑で高密度な構造によって際立っている。

最適化されたパフォーマンスを誇る新しいキャリバー

とりわけエネルギーを消費するスプリット秒針機構を基本キャリバーとクロノグラフ・モジュールの間に追加することは、マニファクチュール技術陣にとって真のチャレンジであった。新しいムーブメントには、厚さの増加を最小限とし、可能な限りコンパクトなボリュームを保持するという仕様が定められたが、その使命は完璧に達成された。80個の追加構成部品（キャリバー R CH 27 PS QI の719個に対して799個）にもかかわらず、新しいキャリバー R CHR 27 PS QIは、厚さが1.93 mm（10.35 mmに対し12.28 mm）しか増加していない。秒表示と同様のエネルギーを消費するスプリット秒針を最適な方法で統合するため、設計者はさまざまなレベルでムーブメントのパフォーマンスを向上させることを選択した。香箱のトルクは、強化されたより厚い素材のぜんまいと、より細い香箱真により増加した。これにより、ぜんまいの長さや巻数を変えず、同一の連続駆動可能時間（クロノグラフ非作動時に最小38時間、最大48時間）を保持することが可能になった。スプリット秒針機構を作動させるために必要な香箱トルクの増加は、連鎖的に《振り当たり》（テンプ振り角の過剰による脱進機への衝撃）の現象を回避することによって歩度のよりよい安定性を確保するため、テンプの慣性を増加させる必要性につながっている。また22金偏心マイクロローターは、プラチナ偏心マイクロローターに置き換えられた。この金属は比重が大きいいため、新しい香箱を支障なく巻き上げるためのパワーを確保することができた。

クロノグラフ秒針車の摩擦を排除する新しい特許取得のシステム

エネルギー消費を低減するために、設計者はスプリット秒針クロノグラフに関しても、2件の特許出願の対象となった技術革新を行った。第1はクラッチ・システムに関するものである。水平クラッチ式のクロノグラフでは、秒針車とクロノグラフ秒針車（クロノグラフ秒針がついている）の連結は、クラッチ・レバーによって作動するクラッチ歯車を介して行われる。クロノグラフ秒針の震えを避けるために、通常、クロノグラフ秒針車には摩擦バネが装備されており、軽い制動を与えているが、これはエネルギーを消費する。パテック フィリップは、従来の歯型のクラッチ歯車を革新的なバックラッシュ補正クラッチ歯車のシステムに置き換えることで、この摩擦を排除した。LIGAプロセス（フォトリソグラフィと電鍍を用いた微細構造物形成技術）によって製造された、先進的ジオメトリを持つこのニッケル・リン合金製の構成部品は、各々が厚さ18ミクロンの微細な板バネを組み込んだ長い分割された歯を備え、この歯がクロノグラフ秒針車の歯を挟むことにより、調整の必要なしにクロノグラフ秒針の震えを排除する。ここには伝統と革新の統合というパテック フィリップの精神が完璧に体現されている。この原理は、2019年に新しい自動巻基本キャリバー 26-330（カラトラバ・ウィークリー・カレンダー 5212A-001モデルに搭載されて発表）により導入された、秒カナ歯車を駆動する特許取得のバックラッシュ補正歯車を連想させる。しかし今回、水平クラッチ式クロノグラフ機構に最適化するため、歯と板バネのプロフ



《報道資料》 ページ 3

ィールは完全に再設計され、改善されたパフォーマンスと信頼性が実現されている。

新しい特許取得のスプリット秒針レバー隔離機構

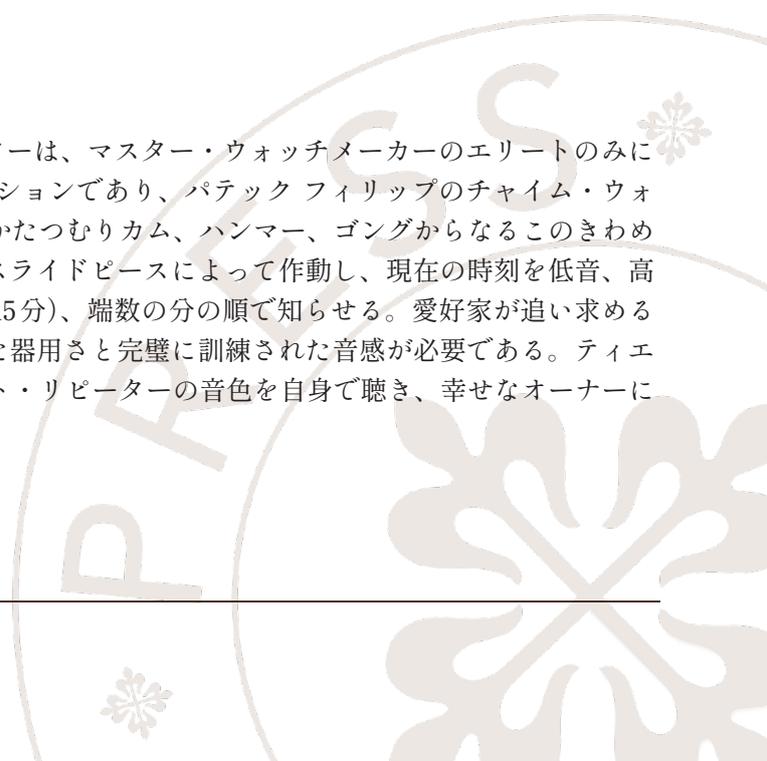
第2の特許取得の技術革新は、クロノグラフ・モジュールに統合されたスプリット秒針機構に関するものである。通常のスプリット秒針機構では、中間タイムを読み取るためにスプリット秒針を一時停止させる（スプリット秒針クランプが閉じる）と、スプリット秒針レバーはスプリット秒針ハートカムを滑動し続ける。これはエネルギーを消費する。パテック フィリップが開発した新しいシステムでは、隔離機構により、スプリット秒針レバーを押し上げ、スプリット秒針ハートカムから隔離する。これにより、停止したスプリット秒針車がテンプレの振り角に影響を与えるのを防ぐことができる。それは同時にムーブメントの信頼性と、クロノグラフ作動時の連続駆動可能時間も向上させる。すでにパテック フィリップは2012年、手巻キャリバー CHR 29-535 PS Q（スプリット秒針クロノグラフ・永久カレンダー5204モデル）、および2015年、キャリバーCHR 29-535 PS（スプリット秒針クロノグラフ5370モデル）においてスプリット秒針レバー隔離機構を開発している。しかし新しい5308G-001モデルでは設計が完全に見直され、デュアル・レバーを備えた同心円状の隔離機構により、その厚さを減少させることができた。

スプリット秒針シングルプッシュボタン・クロノグラフ

コラムホイール制御、水平クラッチ式の、きわめて薄い構造を持つシングルプッシュボタン・クロノグラフは3時位置に60分計、9時位置に12時間計を備えている。2時位置の単一のプッシュボタンにより、スタート、ストップ、ゼロ復帰を連続して行う（3フェイズ・クロノグラフ）。独自のコラムホイールを備えたスプリット秒針は、4時位置のプッシュボタンによって操作する。プッシュボタンを押すとスプリット秒針が停止し、次に押すと秒針に追いつく。スプリット秒針の停止と秒針に追いつくプロセスは、クロノグラフ計測中に何度でも繰り返すことができる。計測を終えるには、2時位置のプッシュボタンを押して2本の指針を同時に停止し、さらに押してゼロに復帰させる。

2本のゴングを備えたミニット・リピーター

2本のクラシック・ゴングを備えたミニット・リピーターは、マスター・ウォッチメーカーのエリートのみ許された技術の賜物というべきグランド・コンプリケーションであり、パテック フィリップのチャイム・ウォッチの伝説的な最高の音色を提供する。微小なクシ歯、かたつむりカム、ハンマー、ゴングからなるこのきわめて洗練されたシステムは、ケース側面の9時位置にあるスライドピースによって作動し、現在の時刻を低音、高音・低音、および高音のゴングにより時、クォーター（15分）、端数の分の順で知らせる。愛好家が追い求める《パテック フィリップの音色》を実現するには、熟練した器用さと完璧に訓練された音感が必要である。ティエリー・スターン社長は、工房で製作された各々のミニット・リピーターの音色を自身で聴き、幸せなオーナーにこれを届けることができるかどうかを決定する。





洗練された瞬時日送り式窓表示永久カレンダー

瞬時日送り式窓表示永久カレンダーは、きわめて少数のタイムピースのために特別に採用される技術的壮挙であり、2008年に5207モデルにより導入され、2011年に5208モデルで再び採用された、2件の技術特許による同一のエクスクルーシブな機構を使用している。この機構のみで799個の構成部品中、220個を必要とする。残存するパワーリザーブが10時間になっても、曜日、日付、月表示、閏年サイクルの4つの表示ディスクがわずか30ミリ秒で送られる。ディスクによる表示を採用したため、この機構の実現はさらに困難な課題となった。それは窓表示が指針表示よりもはるかに大きな質量の移動を必要とするためである。第1の技術特許は、カレンダー表示の日送りを行なう大型レバーに関するものである。瞬時日送り式表示においては、ディスクを保持し、瞬時に回転させるためにエネルギーの完璧な制御が必要となる。15個の部品（一部は可動）から構成される大型レバーは、すべての表示を同時に正確にジャンプさせることを保証する。第2の技術特許は、カレンダー表示の日送りに必要なエネルギーに関するものである。月末が31日の月の終わりには日付ディスクは翌月の1日まで1日分進むだけであるが、平年の2月末には、28日から翌月の1日まで4日分進む。この回転角度の大きな違いに対処するため、反対方向に働く2つの補完的なジャンパー・スプリングを備えた構造により、日付表示ディスクを常に均一の制御された力で回転させることができる。これにより、エネルギー不足による不完全なジャンプや、過度のエネルギーによる過剰なジャンプが回避できる。

エレガンスと読みやすさを兼ね備えたアイスブルー・ソレイユの文字盤

新しいカドラブル・コンプリケーション5308G-001モデルは、エレガントなアイスブルー・ソレイユの文字盤を備え、ブルー・メタライズ・ホワイトゴールドの植字アワーマーカーとファセット仕上げドフィース型時・分針がこれにアクセントを与えている。キャリバー R CHR 27 PS QIが提供する13の機能を完璧な明確さで表示するため、読みやすさに重点が置かれている。永久カレンダーの曜日、日付、月は、10時～2時位置に円弧状に配置された3つの表示窓に表示され、各々がブルー・メタライズ・ホワイトゴールドの別付けフレームで縁取られており、日付窓は、情報の重要さに鑑み、サイズが大きくなっている。8時位置の昼夜表示と4時位置の閏年サイクルの2つの丸い小窓がカレンダー表示を補完している。これらは、カレンダーを調整する際、欠かせない要素である。

オープンワークを施したラグを備えたホワイトゴールド・ケース

この卓越したメカニズムを取めるために、パテック フィリップはホワイトゴールド・ケースを採用した。5208モデルと同じデザインと同じ直径（42 mm）のこのシンプルでクラシックなスタイルのケースは、全面がポリッシュ仕上げされ、凹面ベゼル、オープンワークを施したラグが特徴である。このタイムピースには、交換可能なサファイヤクリスタル・バックとホワイトゴールドのソリッド・ケースバックが共に付属している。洗練された外観は、ブリリアント・ネイビーブルーのアリゲーター・バンド、および最高の快適さと安全性を保証する、特許取得の新しい3ブレード・ホワイトゴールド折り畳み式バックルにより完璧なものとなっている。



キャリバー R CHR 27 PS QI に関する技術特許

新しい技術特許

- **バックラッシュ補正クラッチ歯車（欧州特許番号 EP 3492779A1）**

クロノグラフ秒針の震えを防止するこのバックラッシュ補正クラッチ歯車システムは、クロノグラフ秒針車の摩擦を排除することを可能にし、エネルギー消費を低減する。

- **スプリット秒針の隔離機構（欧州特許番号 EP 3179318A1）**

この隔離機構により、スプリット秒針が停止している際に、スプリット秒針レバーがスプリット秒針ハートカムを滑動しないようにこれを押し上げ、スプリット秒針ハートカムから隔離する。これによりエネルギー消費を低減する。

キャリバー R TO 27 PS QI（5207モデル、2008年）により導入された技術特許

- **カレンダー機構を備えたタイムピース（欧州特許番号 EP1734419 A1）**

この独自で複雑な形状の大型レバーのシステムは、15個の部品から構成され、一部は可動部品となっている。永久カレンダーのすべての表示を同時に瞬時に送ることができる。

- **永久カレンダーまたは世紀永久カレンダーを備えた時計の瞬時日送りを行うための大型レバーの下降作動装置（スイス特許番号 01080/07）**

このシステムは、反対方向に働く2つの補完的なジャンパー・スプリングを備えた構造により、月末が何日（28、29、30日または31日）であっても、日付表示ディスクを常に均一の制御された力で回転させることができる。

《本資料に関するお問い合わせ先》

PP Japan 株式会社

パテック フィリップ ジャパン

広告・広報部 部長

大塚 和泉

電話：03 - 5209 - 8018（直通）

FAX：03 - 3256 - 7558

izumi@ppjapan.com

《ご掲載いただく場合の読者お問い合わせ先》

パテック フィリップ ジャパン・インフォメーションセンター

電話：03 - 3255 - 8109

パテック フィリップ ホームページ：<https://www.patek.com>





技術仕様

カドラブル・コンプリケーション5308G-001モデル

ムーブメント：	キャリバー R CHR 27 PS QI 機械式自動巻ムーブメント、2本のクラシック・ゴングを備えたミニット・リピーター、スプリット秒針シングルプッシュボタン・クロノグラフ、60分計、12時間計、スモールセコンド、瞬時日送り式永久カレンダー、曜日、日付、月、閏年、昼夜を窓表示、ムーンフェイズ
直径：	32 mm (ミニット・リピーター・クロノグラフ基本キャリバー 28 mm、瞬時日送り式永久カレンダー追加モジュール32 mm、スプリット秒針追加モジュール32 mm)
厚さ：	12.28 mm (ミニット・リピーター・クロノグラフ基本キャリバー 5.23 mm、瞬時日送り式永久カレンダー追加モジュール2.75 mm、スプリット秒針追加モジュール4.30 mm)
部品総数：	799個
石数：	67石
連続駆動可能時間：	最小38時間、最大48時間 (クロノグラフ非作動時)
巻き上げローター：	プラチナ製偏心マイクロローター、単方向巻き上げ式
振動数：	21,600振動 (片道) /時 (3 Hz)
テンプ：	Gyromax [®]
髭ぜんまい：	Spiromax [®] (Silinvar [®] 製)
髭持ち：	可動式
セッティング機能：	リュウズの2位置： ・押し込んだ位置：巻き上げ ・引き出した位置：時刻合わせ
表示：	指針： ・時・分針 (センター) ・クロノグラフ秒針 (センター) ・スプリット秒針 (センター) ・クロノグラフ60分計 (3時位置) ・クロノグラフ12時間計 (9時位置) ・スモールセコンド (6時位置) 表示窓： ・曜日 (10～11時位置) ・日付 (12時位置) ・月 (1～2時位置) ・ムーンフェイズ (6時位置) ・昼夜表示 (8時位置) ・閏年サイクル (4時位置)





《報道資料》 ページ 7

- プッシュボタン： クロノグラフのスタート、ストップ、ゼロ復帰（3フェイズ・シングルプッシュボタン）
（2時位置）
スプリット秒針のストップ、再スタート（4時位置）
- 調整ボタン： ・曜日（11～12時位置）
・月（12～1時位置）
・ムーンフェイズ（5～6時位置）
・日付（6～7時位置）
黒檀と18金ホワイトゴールドのファンクション・ペンシルが付属
- スライドピース： ミニット・リピーターを起動（ケース側面9時位置）
- 刻 印： パテック フィリップ・シール
- 外 装
- ケース： ホワイトゴールド仕様、オープンワークを施したラグ
交換可能なサファイヤクリスタル・バックとホワイトゴールドのソリッド・
ケースバックが共に付属
非防水（湿気・埃にのみ対処）
- ケース寸法： 直径：42 mm
幅（9～3時位置、リュウズを含む）：46.19 mm
長さ（ラグ～ラグ）：52.11 mm
総厚（ガラス～ラグ）：17.71 mm
厚さ（ガラス～ガラス）：17.71 mm
ラグ間隔：22 mm
- 文字盤： ・18金ホワイトゴールドの文字盤プレート、アイスブルー・ソレイユ
・11個のブルー・メタライズ18金ホワイトゴールドの植字ボタン型アワーマーカー
・ブルー・メタライズ18金ホワイトゴールドの3ファセット・ドフィーヌ型時・分針
・ブルー・メタライズ18金ホワイトゴールドのスマールセコンド秒針
・ホワイト塗装ステンレススチール・クロノグラフ秒針とスプリット秒針
・ホワイト塗装18金ホワイトゴールドのボタン型60分計、12時間計指針
・文字盤外周にホワイト転写シュマン・ド・フェール（ルール）型分スケール
・ブルー・メタライズ18金ホワイトゴールド別付けダイヤモンド研磨日付、曜日、
月表示窓フレーム
- バンド： ・ラージ・スクエアのアリゲーター・バンド、カラーはブリリアント・ネイビーブルー、
特許取得の3ブレード18金ホワイトゴールド折り畳み式バックル
-